わたしたちは、良質な医療を提供し、地域の皆様から愛され、信頼される病院を目指します!

南部町国民健康保険
西伯病院
SAIHAKU HOSPITAL

まいちょこ通信

2023年
秋号
VOL.7

撮影：泉　敏弘　医師

〈主な内容〉

●言語聴覚士の紹介～話す、聞く、食べるのスペシャリスト～　●緩和ケアチームの活動
●法勝寺中学校の職場体験

～職種紹介～

言語聴覚士とは

話す、聞く、食べるのスペシャリスト

　みなさん、こんにちは。西伯病院の「言語聴覚士」の天野と岩崎です。みなさんは、「言語聴覚士」という職種をご存じですか？今回は「言語聴覚士」についてご紹介します。

【言語聴覚士の歴史】

　「言語聴覚士」は、リハビリ領域の専門資格の中で最も新しい国家資格です。言語聴覚士の国家資格は、1960年代半ばからその必要性が叫ばれてきました。1971年には国立聴力言語障害センター（現国立障害者リハビリテーションセンター）に専門職員養成所が設立され、言語聴覚士の養成が始まりました。その後、急速な高齢者社会の到来を迎え、言語聴覚士の早急な国家資格化が必要であるということで、1997年に言語聴覚士法が制定されました。1999年に第一回国家試験が実施され4003名の国家資格としての言語聴覚士が誕生しました。毎年1800人が国家資格に合格し、現在全国に約３万8000人の言語聴覚士がいます。

【言語聴覚士の仕事】

　言語聴覚士は「話す」「聞く」「食べる」の専門家です。
脳梗塞や脳出血、癌、頭部外傷、パーキンソン病などの難病疾患など様々な病気によって起こる言語障害（失語症、構音障害、高次脳機能障害）や聴覚障害、ことばの発達の遅れ、声や発音の障害、摂食嚥下障害に対して対処法を見出すために検査・評価を実施し、必要に応じて訓練、指導等を行います。患者様だけでなく患者様を支える御家族様への支援も行っています。

　言語聴覚士は医療機関だけではなく、保健施設（介護老人保健施設、デイケアセンター、訪問リハビリテーション事業所など）福祉施設（特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなど）教育機関（小中学校、特別支援学級、研究施設、言語聴覚士教育施設など）幅広い領域で活躍しています。

JAS 一般社団法人 日本言語聴覚士協会 Japanese Association of Speech-Language-Hearing Therapists

引用
https://www.japanslht.or.jp

【西伯病院では】

　当院では言語聴覚士はリハビリテーション部に所属しており、現在２名の言語聴覚士が在籍しています。成人の言語障害、摂食嚥下障害、高次脳機能障害を主に対象とし支援をさせていただいています。特に関わることの多い障害は高齢者に多く見られる「摂食嚥下障害」です。加齢に伴い、摂食・嚥下に関する機能などが低下すると、口から食べることが難しくなります。その結果、胃ろう造設などにより栄養管理が行われることがあります。しかし、口から食べてこそ、生きる喜びや楽しさを実感できます。言語聴覚士は「最期まで口から食べる」を目標にしています。医師、歯科医師、看護師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、介護福祉士などの専門職と連携し、患者様の「食べたい」を全力でサポートします。当院では、入院患者様のみでなく、外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリによるサービスも提供しています。何かお困りのことがあれば是非お気軽に当院にご相談ください。

こんにちは、西伯病院緩和ケアチームです。
普段、私たちは２つの目的のために活動しています。
1）がんや心不全のつらい症状や苦痛の緩和
2）人生の最終段階を過ごされるかたのつらい症状や苦痛の緩和　です。
入院すると
医　師：わかりやすく身体の状況を説明し可能な医療の選択肢を示します。
看護師：医師とご本人の意見の間をつなぐ役割をしています。
（どのような希望や想いを持っているか、どうしたら実現出来るか本人やご家族を支える役割を担っています。）
患者様の心に寄り添うことの実現が困難と思われるような時にも、
患者様と思いがすれ違うことなく治療に向き合えるためには、
正しい判断ができる時に、元気なうちに、下のような事を考えてみていてほしいのです。

質　問　（一例です　参考としてご覧ください）

・あなたのことを1番わかってくれる人は誰ですか	（親 兄弟 子供 親戚 友人 知人 医療従事者 仲間 など）
・この先心配なことは何ですか	（家族のこと お金のこと 田畑のこと 仕事のこと　など）
・人生で最も大切にしている事はなんですか	（自分自身が大切にしていること など）
・だれと今後の事を話したいですか	（家族 ケアワーカー 看護師 医師 その他 など）
・動けなくなった時に優先したい事はなんですか	（故郷に帰りたい 連絡を取りたい人がいる 気がかりを解決しておきたい など）
・食べられなくなった時にどうしたいですか	（食べられるようになるまで胃ろうをしてほしい 点滴してほしい 何もしないでほしい など）
・自分で自分の事を出来なくなった時どう過ごしたいですか	（医療者に支えてもらいたい 家族に支えてもらいたい 家族以外に支えてもらいたい など）
・急変して意識が回復しないときはどこまでの治療を望んでいますか	（急な事故のとき / 回復が医学的に困難かつ死期が差し迫っていると医師が判断したときの心肺蘇生術 など）
・最期を迎えるとしたらどこで迎えたいですか	（病院 施設 家 どこでもいい など）

たとえばこんなきもち　（どちらかといえば・・・）

・身の回りのことは自分でやりたい
・痛みや苦しみが少なく過ごしたい
・生きていることに価値を感じていたい
・他人に弱った姿を見せたくない
・家族や友人と十分に時間を過ごしたい
・家族の負担になりたくない
・自然に近い形で過ごしたい
・自分の話を聴いて欲しい
・自分の体の変化を知りたい
・納得いくまで十分な治療を受けたい

時とともに頼る相手が変わると希望も変化するものです。
今はどんな希望があるのか家族や友人、誰かと気楽にしゃべってみませんか？
治療方針を決める時、中心にいるあなたへ。緩和ケアチーム

【わたしたちの取組み以外に】
西伯病院 1 階の総合受付待合フロア・内科待合フロアに南部町作成の「もしものときの終活手帳」があります。ご自身が亡くなった後残される人に向けたメッセージを伝えるものとしても利用できる手帳になっています。
ご自由にお持ち帰り頂けますのでご利用ください。

法勝寺中学校の職業体験について

7月10日（月）から13日（木）の間、法勝寺中学校の取組みである「しごと☆未来体験（職場体験学習）」として、２年生の生徒４名が来院されました。「リハビリ体験」「防護具着用体験」「シーツ交換練習」「検査室体験」「手術体験」など院内各部署にて、その仕事の内容や特殊な機器の説明を受けました。また、今回から全日程「看護服」を着用してコスプレ？も楽しんでもらいました。慣れない場所で緊張され、夕方には疲れてクタクタになっていましたが、徐々に笑顔も見え「楽しい！」「医療に興味が沸いてきた！」などの感想も聞きました。体験を通して医療に興味をもっていただき、未来の仕事を選択するうえでの一助になればと思います。

「千日紅」の苗の植付について

今年も、大国地域振興協議会から「千日紅」の苗をいただきました。紫色の可愛らしい丸い花が玄関前のロータリー付近で咲いていますので、来院された際は是非鑑賞ください。

暑い中作業ありがとうございました。

花言葉：「変わらぬ愛」「色あせぬ愛」

南部町国民健康保険西伯病院
〒683－0323　鳥取県西伯郡南部町倭397
TEL 0859－66－2211　http://www.saihaku-hospital.com/
病院に関するご意見、ご要望、また、広報誌に対するご意見などお待ちしています。

表紙題字　南部町教育委員会事務局　大下真史